

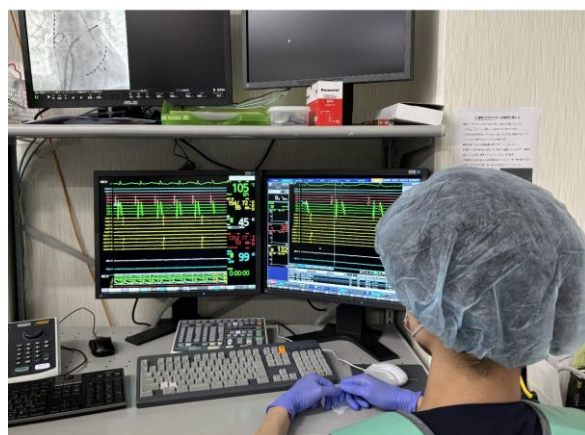


— 不整脈治療「アブレーション」 —

心臓は、微弱な電気信号が専用の「道路」を通ることで、規則正しく動くポンプの役割を果たしています。しかし、この道に本来ないはずの「抜け道」ができて電気がぐるぐる回り続けたり、電気信号自体が不規則なタイミングで興奮したりすると、動悸や胸の違和感といった不整脈が起こります。

お薬で不整脈を抑えることもあります。不整脈の根治を目指して普及しているのが「カテーテルアブレーション」です。これは、足の付け根などの血管から細い管（カテーテル）を心臓に入れ、原因となる余計な「抜け道」を熱で遮断する治療です。胸を大きく切り開く必要がなく、傷口は数ミリ程度と小さいため、痛みや出血も最小限で、体への負担が比較的軽く、多くの場合、数日の入院で日常生活に戻ることが可能です。

我々臨床工学技士は、この「カテーテルアブレーション」の治療中、心臓内の電気信号を立体的に可視化する「3D マッピングシステム」の操作や、「ポリグラフ」という電気信号を詳しく見るモニターで心電図や血圧などのバイタルサインを監視し、看護師とともに、医師が行う治療を、バックアップしています。この3D マッピングシステムとは、心臓専用の「高性能カーナビ」のようなものであり、医師と連携しながらリアルタイムで模擬心臓を作成し、数ミリ単位で不整脈の発生源を特定し、治療の成功を支えています。



そのほかにも、アブレーション中、呼吸器や除細動器などの医療機器を最適な状態で運用し、患者さんが安心して治療に臨めるよう、細やかな視点でチーム医療の一翼を担っています。

不整脈は放置すると、心不全や脳梗塞のリスクを高めることがあります。気になる症状がある方は、昨年より当院でも不整脈外来が開設されましたので、お気軽にご相談ください。

臨床工学技士 渡邊佑亮

菜の花ジェノベーゼ

材料〈2人分〉

- ・菜の花-----100 g
- ・むきエビ-----50 g(5 匹)
- ・パスタ(乾) -----200 g
- ・しらす-----大さじ 2
- ・バジルソース(市販) --大さじ 4
- ・オリーブオイル-----大さじ 2



作り方

- ① 菜の花を 4 cm 幅に切る。
- ② パスタを茹で、茹で上がる 1 分前に菜の花、エビを入れる。茹で上がったらザルにあげて湯を切る。
- ③ フライパンにオリーブオイルをひき、②とバジルソースを入れ、弱火で軽く和える。
- ④ お皿に盛り付け、しらすをかけて出来上がり



◎菜の花には、春に不足しがちなビタミン C や β カロテンが豊富で季節の変わり目の体調管理に役立ちます。

管理栄養士 岡本夏海

枚方公済病院 理念

医療への貢献と奉仕

基本方針

地域における中核病院として、快適な療養環境と高度な医療を提供する。
患者さんの立場を尊重した合理的かつ安全な医療を行う。
病院は働き甲斐のある職場を整備し、職員は知識と技術の研鑽に励む。
強く、優しく、頼れる病院を目指す。

